

わが社の経営理念

VOL.188

山本 太郎（神戸中央支部）

株式会社コンヒラ

経営 「他社ができない顧客のニーズ」に応える。

理念 より高い目標の実現を通し、価値観を共にする全社員の成長と幸福を追求し続ける。

事業理念 5か条

- 第一条 収益最大/お客様の感動を最大にします。
- 第二条 費用最少/私たちの無駄をゼロにします。
- 第三条 自主独立/会社の資本を最大にします。
- 第四条 全体最適/私たちの組織力を最強にします。
- 第五条 智慧無限/従業員の価値を最大にします。

社名：株式会社コンヒラ
住所：神戸市中央区港島南町3丁目3-25
役職：代表取締役
氏名：山本 太郎
所属：神戸中央支部
同友会入会：2016年3月

■事業内容

- ・船舶、陸上用ストレーナー及び廃液処理装置の企画
製造販売
- ・ホモジナイザー製造販売
- ・海洋生物付着防止装置
- ・省エネ装置 各種
- ・エマルジョン燃焼装置
- ・海外輸入品各種
- ・舶用機器総合代理店

経営指針成文化セミナーに毎年参加し、今年で5回目の株式会社コンヒラの山本太郎さん。なぜ毎年参加するのか強く興味を持ち取材をスタート。

■なぜ「経営指針成文化セミナー」に毎年参加されるのでしょうか？

「理由は五つあります。第一に経営指針は儲かるツールだからです。経営指針を通し実践することで当社は間違いなく利益を計画値より押し上げてきました。第二に期限のある宿題があるからです。宿題は主に自社や市場の分析ですが、後回しにしてしまいがちです。期限があることで無理やりでも時間を作り、宿題をとおして自社に向かう時間ができるからです。第三に毎年少しづつ変化する宿題フォーマットで新たな気付きがあるからです。これは思い込みを排除し、より良い切り口で施策を決めることにつながります。第四に最後の合宿で講師をしていただく丸山 博氏から新しい切り口で分析する枠組みを教えていただけるからです。そこからも新しい気付きが生まれます。そして第五にケイローさんは分析に慣れておりしかも社外の目で冷静に質問してくれるからです。ここでケイローさんが分かるように回答できれば、結果社員も理解しやすい成文になり、施策も納得感が生まれます。」



■経営理念について教えてください

「経営理念と事業理念があり全部で7つあります。しかし始めは「収益最大」「費用最小」しかありませんでした。その当時は利益の事ばかり考えていたんです。その後「自主独立」を追加し自社ブランドが急激に増えました。次に「全体最適」が追加され個人プレーではなく組織プレーを重視するようになりました。次に「知恵無限」を追加しトップダウンでなく、全社員で知恵を出すことを目指しました。次に「顧客のニーズ」を追加しブルーオーシャンで価格決定権を持つようにしました。そして最後に「社員の幸福追求」が追加され、社員の所得が同業他社より高くなり、有給消化率もあがり、残業もほぼなくなりました。まさにコンヒラは経営理念と共に変化してきたのです。

■これからの抱負を教えてください

「事業承継した時に経営層や株主が会社を私物化できないような仕組みを目指しています。山本家以外の優秀な人間が経営層になっても回るかどうかが、経営理念と経営指針が上手く機能しているかチェックする指標になると考えています。創業家以外でも組織を回せるようになると、真の実力者がドンドン経営層として会社を成長させ、社員を幸せにできることにつながります」

■まとめ

順調に経営してきたように見える山本氏。実はインタビューの中で、たくさんの失敗談も聞きました。失敗を通して経営理念も経営指針も何度も何度も細かく見直しながら、会社も経営者自身も一歩一歩成長してきたことがよくわかり、「経営指針は会社、社員と共に何度も壁にぶつかりながら成長していくもの」だと感じました。

神戸中央支部 広報委員会副委員長 吉田 秀司

